

## 令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況 (岡山県)

### 【調査結果の概要】

#### 1 作付面積

令和2年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は3万1,200haで、前年産に比べ300ha（1%）の減少が見込まれます。

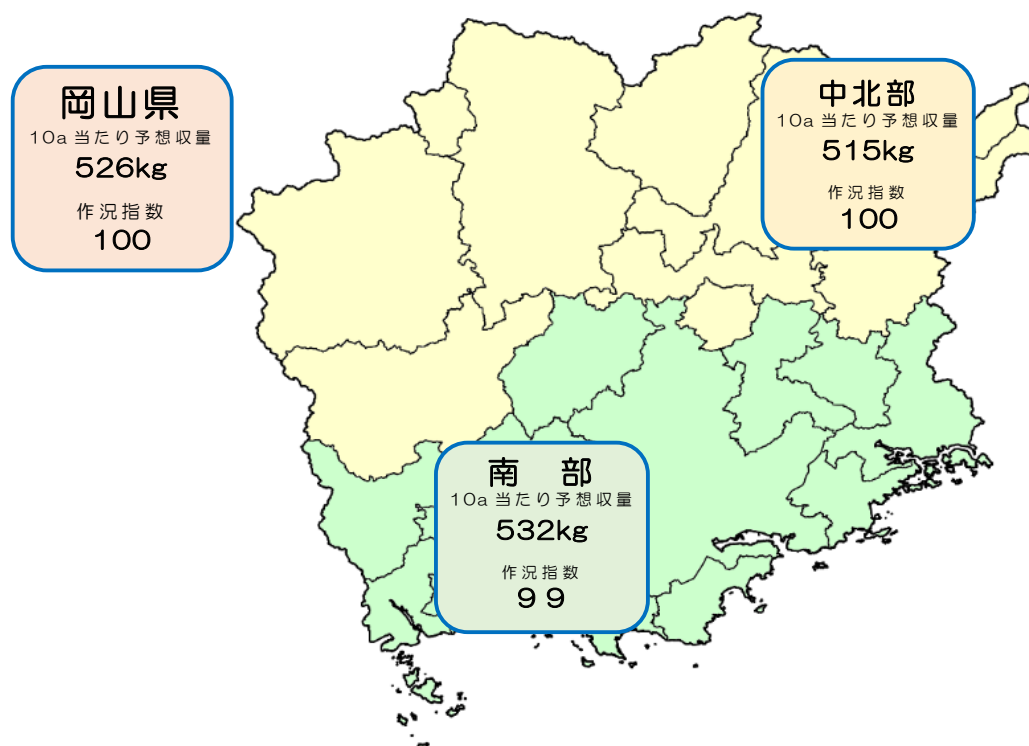
なお、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付見込面積は2万8,900haと見込まれます。

#### 2 作柄概況

穂数は、田植期以降天候に恵まれた中北部で「やや多い」、7月上・中旬が日照不足となった南部では「少ない」となり、県全体では「やや少ない」となりました。1穂当たりもみ数は、7月下旬から8月中旬にかけて天候に恵まれたため中北部、南部、県全体ともに「やや多い」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、中北部で「やや多い」、南部、県全体で「平年並み」となりました。

登熟は、中北部で7月上・中旬の日照不足により「やや不良」、南部は8月以降天候に恵まれていることから「やや良」が見込まれ、県全体で「平年並み」と見込まれます。

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（9月15日現在）



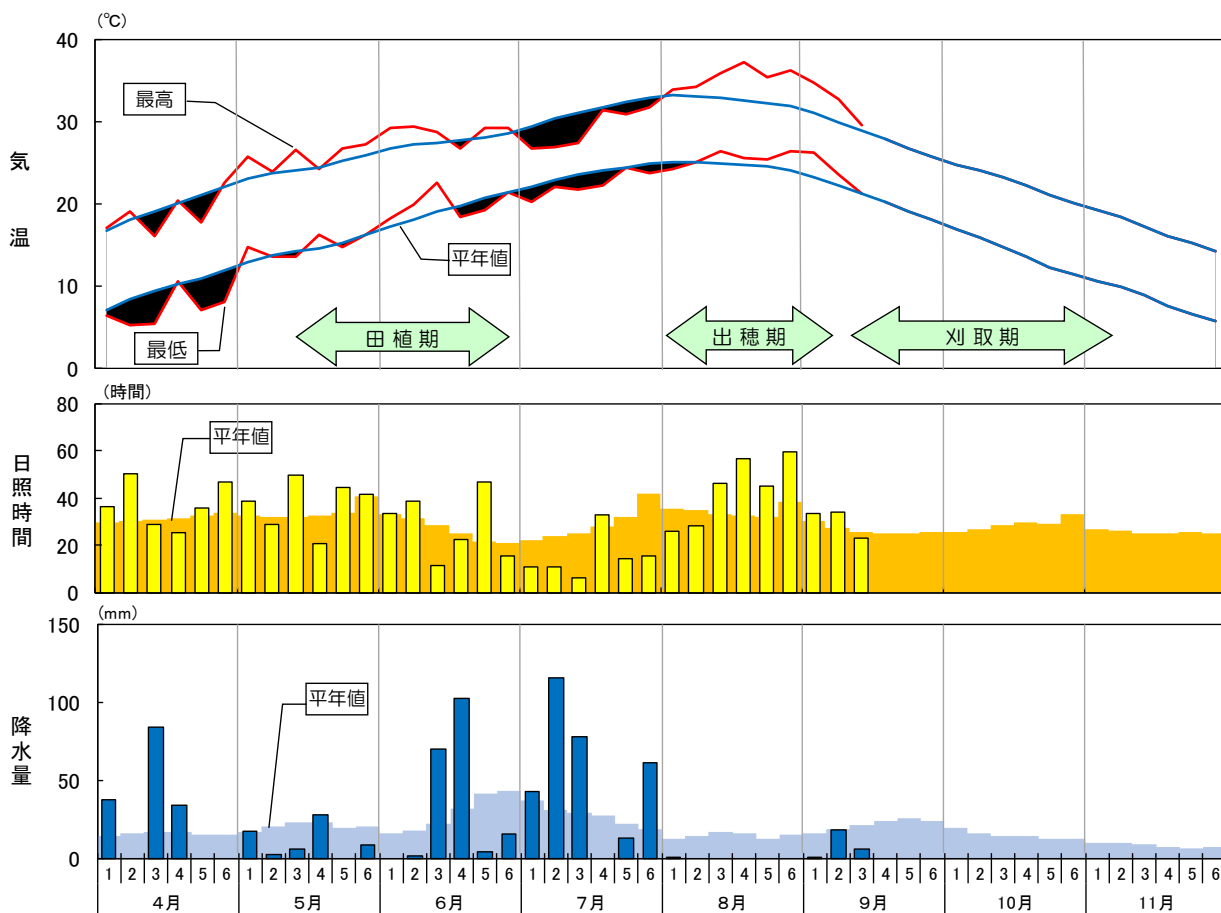
以上のことから、岡山県の 10 a 当たり予想収量は 526 kg となり、前年産に比べ 9 kg の増加が見込まれます。作柄表示地帯別では、南部が 532kg（前年産に比べ 7 kg 増加）、中北部が 515kg（同 11kg 増加）と見込まれます。また、農家等が使用しているふるい目幅（岡山県 1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した 作況指数は 100（平年並み） と見込まれます。作柄表示地帯別では、南部が 99（平年並み）、中北部が 100（平年並み）と見込まれます。

### 3 予想収穫量（主食用）

主食用作付見込面積に 10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は、15 万 2,000 t と見込まれます。

#### ◎半旬別気象図

岡山市の気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「令和 2 年産水稻の作付面積及び 9 月 15 日現在における作柄概況（中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

#### お問合せ先

中国四国農政局 統計部 統計調査チーム 担当：浦野、豊嶋、権田  
電話：086-899-8618 FAX：086-899-8619